

鳴瀬川総合開発事業 流域連携シンポジウム

鳴瀬川総合開発事業は洪水被害の軽減、大崎耕土へのかんがい用水の安定的な供給、良好な河川環境の保持、自然エネルギーによる発電など鳴瀬川沿川地域への大きな効果が期待される事業です。

一方、鳴瀬川ダムをはじめとした鳴瀬川総合開発事業の実施は、建設地域すなわち水源地域の方々の理解と協力のうえに成り立つものです。

これから新たなステージに入る鳴瀬川総合開発事業を契機に、鳴瀬川沿川地域と水源地域が互いを理解し、様々な交流や連携への取り組みを進めて行きましょう。

開催日時 令和3年

入場
無料

200

要事前申込
名(先着順)

13:00~16:20
(開場 12:30)

12月19日(日)

会場

やくらい文化センター(大ホール)

〒981-4341 宮城県加美郡加美町字中原南105番地

シンポジウムに関する お問い合わせ

鳴瀬川総合開発工事事務所 調査設計課 TEL: 0229-22-7830

プログラム

オープニングセレモニー 小野田^{らいめい}菜鳴太鼓

第1部 基調講演

「ツーリズムにおける人の流れの作り方」

第2部 パネルディスカッション

テーマ1 「今後本格化するダム建設事業への期待」

テーマ2 「水源地域との交流と流域連携」



郷土芸能の小野田菜鳴太鼓

主催

鳴瀬川総合開発事業流域連携シンポジウム実行委員会
鳴瀬川総合開発促進期成同盟会・国土交通省 鳴瀬川総合開発工事事務所

後援

一般社団法人 東北地域づくり協会

鳴瀬川総合開発事業 流域連携シンポジウム

TIME TABLE ～～ タイムテーブル ～～

13:00～16:20

TIME	プログラム	プロフィール	(順不同)
13:00	開会		
13:05	オープニングセレモニー 小野田 ^{らいめい} 菜鳴太鼓	 講演者 門脇 伊知郎 氏 合同会社 わんぱく 代表 (株)流山ツーリズムデザイン(DMO) 代表取締役 CEO 観光庁「新たな旅のスタイル」 促進事業 アドバイザー 東京都中小企業振興公社 登録専門家	
13:25	鳴瀬川総合開発事業に伴う損失の補償に関する協定書調印式 (概要ビデオ上映)		
13:40	挨拶 伊藤 康志 氏 (実行委員長/大崎市長)		
13:45	第1部 基調講演 「ツーリズムにおける人の流れの作り方」 講演者 門脇 伊知郎 氏 (合同会社 わんぱく 代表)	<p>27年間勤務したJTBを退社後、地域活性化のコンサルティングに特化した「合同会社わんぱく」を設立。観光地経営の中心となるDMO設立支援、自治体のシティプロモーション戦略の推進、地域資源発掘と磨きあげ、観光人材育成のための講演・研修講師などを行う傍ら、中小企業の支援等も行い、観光業界に留まらない地域の活性化に取り組んでいる。</p>	
14:30	休憩		
14:45	第2部 パネルディスカッション テーマ1 「今後本格化するダム建設事業への期待」 テーマ2 「水源地域との交流と流域連携」 コーディネーター 平岡 善浩 氏 (宮城大学 教授、事業構想学群副学群長、基盤教育群長) パネリスト 高橋 太治 氏 (鳴瀬川ダム補償対策地権者会連絡協議会 会長) 千葉 榮 氏 (鶴田川沿岸土地改良区 理事長) 猪股 洋文 氏 (加美町長) 加藤 慶太 氏 (東松島市副市長) 二瓶 昭弘 氏 (鳴瀬川総合開発工事事務所長)	 コーディネーター 平岡 善浩 氏 宮城大学 教授 事業構想学群副学群長 基盤教育群長 <p>平成7年東京芸術大学大学院美術研究科建築専攻博士課程満期退学。平成14年より宮城大学事業構想学部 専任講師、同准教授を経て、平成23年より現職の宮城大学事業構想学群 教授に就任。主に建築設計、まちづくり、コミュニティデザインを専門としている。</p>	
16:15	閉会挨拶 猪股 洋文 氏 (加美町長)	 パネリスト 高橋 太治 氏 鳴瀬川ダム補償対策地権者会連絡協議会 会長 <p>昭和57年9月の地権者会連絡協議会発足時から、長年に渡り役員として尽力。協議会の他、地元行政区長も務める等、地元の取り組みや行政機関との調整に取り組む。平成23年より会長に就任し、現在に至る。</p>	



パネリスト 千葉 榮 氏
鶴田川沿岸土地改良区 理事長

平成16年9月に鶴田川沿岸土地改良区理事、平成20年9月理事長に就任、現在に至る。平成27年12月設立した吉田川流域土地改良事業連絡協議会会長も兼務。土地改良事業のみならず、地域資源保全管理等、環境を守りつつ活気ある地域づくりを目指した企画立案、推進活動を継続している。



パネリスト 加藤 慶太 氏
東松島市副市長

宮城県職員・自治省職員・気仙沼市副市長等を経て、平成30年4月から東松島市副市長に就任し、現在に至る。平成30年6月、渥美市長とともに、東松島市が「SDGs未来都市」に認定されたことに主導的役割を果たす。SDGsの大きな目標である「住み続けられるまちづくり」を目指し、震災復興・地方創生等に取組んでいる。



パネリスト 猪股 洋文 氏
加美町長

平成23年8月より加美町長に就任し、現在に至る。鳴瀬川総合開発促進期成同盟会の副会長も務めている。町主導の新電力会社「かみでん里山公社」の設立や、音楽を軸とした町づくりなど、「善意と資源とお金が循環する持続可能な魅力ある町」を目指し、地方創生事業等に積極的に取り組んでいる。



パネリスト
二瓶 昭弘 氏
鳴瀬川総合開発工事事務所長



事前参加申込書

必要事項をご記入の上、①郵便(はがき・封書) ②電話 ③FAX ④Eメール にてお申し込みください。

氏名 (代表者名)	(他 名)	所 属	
※団体・複数名参加の場合は、代表者名及び人数の記載をお願いします。		連絡先	TEL
住 所			

申込先

①郵送先：〒989-6162 宮城県大崎市古川駅前大通1-5-18 ふるさとプラザ3～4階「鳴瀬川総合開発工事事務所 調査設計課」宛
②TEL：0229-22-7830 ③FAX：0229-22-7822 ④Eメール：thr-narusou02@mlit.go.jp

申込締切 / 12月13日(月)